

わだち

特集

安全な医薬品物流で
人々の健康に貢献する

—CEIV Pharma

医薬品航空輸送の
最前線

達人ノ音カーリング選手

青木豪／小穴桃里

ロジステード陸上部選手たちの
ON&OFF

市田宏





時を経ても大阪は「つなぐ街」、物流の大拠点であり続ける



「ジャンジャン横丁」は通天閣のお膝元に広がる新世界の名物横丁だ

Contents

特集

04 安全な医薬品物流で
人々の健康に貢献する
—CEIV Pharma
医薬品航空輸送の
最前線

SDGsエコレシビ

10 鍋だしとあら煮

達人ノ音

11 カーリング選手
青木 豪／小穴 桃里

ロジスティード陸上部選手たちのONとOFF

14 市田 宏

18 Topics

19 編集後記

表紙

夢洲(ゆめしま)を望む

お問い合わせや感想はこちらまで
わだち編集事務局:wadachi@logisteed.com

*「わだち」の無断転載はご遠慮ください。
*本誌内においては会社名の敬称を略しておりますので
何卒ご了承ください。

ロジスティード広報誌
わだち 2025秋号
2025年10月1日発行

編集発行人 金田 陽子
発行所 ロジスティード 株式会社
〒104-8350 東京都中央区京橋2-9-2
Tel.03-6263-2803
印刷所 株式会社 日立ドキュメントソリューションズ



大阪の街はいつも何かが運ばれている。米や野菜、肉や魚、鉄や機械、人の暮らしそのものが大阪を経由し、全国へ、そして世界へと旅立ち入ってくる。それは「天下の台所」と呼ばれた時代から変わらず、大阪は「物流の街」として栄え続けてきた。

江戸時代、淀川や道頓堀の水路は全国をつなぐ大動脈であり、中之島の蔵屋敷、堂島の米市場、船場の問屋街などでは、かつて物と人と商談があふれ、活気が絶えなかった。物流は経済だけではなく、大阪人の商売上手な気質や人情も育んだ。そんな水運による物流網は、時代とともに鉄道、道路、空へと移り、大阪港や関西国際空港、高速道路網が整った今も、大阪は日本屈指の「つなぐ街」として存在する。

巨大物流都市、大阪 その歴史と未来

10月13日に閉幕する大阪・関西万博は、「未来社会の実験場」として、都市インフラや物流の将来像にも一石を投じた。特に注目を集めたのは「EXPO Vertiport」での電気で垂直離着陸をするeVTOL(空飛ぶクルマ)のデモ飛行。パイロットが搭乗しない自動制御とリモート操縦で飛ぶ実演をし、来場者に空の新たな移動手段をリアルに体感させた。

また、会場と中之島GATEノースピアを結ぶ航路では、水素燃料電池船「まほろば」が実運航を行い、CO₂を排出しない未来の海上交通体験を来場者に提供。さらに、カーボンリサイクルファクトリーでは、大気中のCO₂を合成メタンとして生成、都市ガスに変換・供給する実証実験が行われ、廃棄物とエネルギーの循環が提示された。こうした展示群は、万博が単なる見本市でなく、未来技術の社会実装ステージであることを示している。大阪はその舞台として確固たる存在感を放ったのだ。

安全な医薬品物流で
人々の健康に貢献する

— CEIV Pharma 医薬品航空輸送の 最前線

人命を守る医薬品はグローバルに開発され、その薬を必要とする患者がいるところへ届けられる。その輸送に際しては温度、湿度、光などに対し厳密な管理が必要だ。医薬品が航空輸送される際、適切な保管が行われ、品質の完全性を保つことを目的にした CEIV Pharma 認証制度について、その最前線を紹介する。

品質に対し完全性を保つ

ワクチン、抗がん剤など、医薬品の開発はグローバルに進み、助かる命は増えている。ただ、医薬品はその取り扱いや保管にあたり温度や湿度、光など、厳密な管理が必要だ。

製薬会社の工場では厳密な管理のもとで製造が行われ、病院などでもそれぞれの医薬品の取り扱い規定に応じた冷蔵保存などが行わ

れる。重要になってくるのは、その輸送段階でも温度管理を含めて適切な状態で運ばれ、医薬品としての完全性を保ち、品質が保証されることだ。

「医薬品には、それぞれに適切な保管の温度帯があります。例えば、2〜8度の温度で保管すべきワクチンが輸送中、数時間だけその適切な温度帯を逸脱した状態に置かれたとします。外部の30度の気温にさらされた、というような場合

です。ワクチンには見た目の変化はありません。しかし、そのワクチンが持つ特性が温度逸脱によって変化してしまい、医薬品としての効果がなくなることがあるのです。最終的には効かないワクチンが患者さんに投与されることになり、人の命にも関わる結果となってしまいます」

そう言って医薬品輸送に求められる品質保持の要求の高さと、品質を損なう事故が起きた際の結果の重大さを教えてくれたのはロジスティクス・エキスプレス(株)営業開発部長の立谷彰浩さんだ。

医薬品の流通に関しては GDP (医薬品の適性流通基準) というグローバルなガイドラインがあり、その内容に沿った輸送が行われているが、それとは別に医薬品の航

空輸送に関する認証制度として CEIV Pharma^{※1}がある。これは IATA (国際航空運送協会) が発行する認証で、GDP に準拠しつつ、航空輸送での温度管理、セキュリティ、品質管理の包括的なプロセスと体制などを IATA が厳格に監査・承認するものだ。医薬品輸送に関わる航空会社、フォワーダー、地上ハンドリング会社、輸送会社が取得できる。

認証取得までのハードルの高さ

フォワーダーであるロジスティクス・エキスプレス(株)は営業拠点がある空港単位での取得を進めている。国内では成田国際空港、関西国際空港で取得した。海外のグループ会社でも香港国際空港、上海浦東

写真中央に写っている白いコンテナは医薬品輸送に使われるコンテナの一つ。これは「アクティブコンテナ」と呼ばれる種類のもので、外部電源やバッテリーによる空調システムを備え、内部の温度制御が可能となっている。

※1 GDP : Good Distribution Practiceの略
※2 CEIV Pharma :The Center of Excellence for Independent Validators in Pharmaceutical Logisticsの略



右からロジスティードエクスプレス(株) 営業開発部 部長補佐 兼 安全品質環境部 部長補佐の藤原 良文さん、同航空事業部 西日本航空課 部長補佐の松下 晋也さん、同課 主任の生長(いきなが) 優一さん。3人もCEIV Pharma認定監査員の資格を持つ。実際の医薬品輸送業務や、後輩の育成なども担当する。

「うことにつながります。社会貢献的な意義としてもやりがいのある仕事です」と藤原さん。

細胞の場合、マイナス80度などの超低温での輸送となる。

また、インフルエンザワクチンを日本からインドネシアへ輸出する業務を担当した松下さんは保管温度帯の調整で苦労した経験を教えてくれた。

新薬開発の核となる細胞の輸送も担う



国際空港(中国、スワンナプーム国際空港(タイ)、シンガポール・チャンギ国際空港(シンガポール)、スカルノ・ハッタ国際空港(インドネシア)で取得し、タン・ソン・ニャット国際空港(ベトナム)で新たに取得する予定だ。

取得までのハードルは高い。まず医薬品輸送の担当者がCEIV Pharmaの管理者及び監査員の資格を取ることから始まる。3~5日

間のIATAによる講習を受け、資格試験に合格しなければその資格は得られない。講習は英語で医薬品の専門用語が飛び交う中行われる。その後、輸送業務の体制などに対する予備監査、本監査が行われ、IATAの監査員の承認を得られてようやく認証される。また認証取得後も3年ごとに更新のための再監査がある。

「予備監査、本監査では250項



上3点/関西国際空港にある医薬品貨物専用の低温共同上屋「KIX-Medica」の内部。医薬品保管で最も重要なことは温度管理であり、入口付近など温度変化が起きやすい場所をあらかじめ調べ、そこをモニタリングポイントとして温度変化を常時チェックしている。左下/充電式保冷コンテナの充電に対応できるよう海外仕様対応可能なコンセントを15個備える。一度にすべてが使用されても電圧が下がることはない。

目ほどの質問に対する資料を用意して、どのような体制を組み、対応していくか答えていかなければいけません。またCEIV Pharma認証下での医薬品輸送で品質管理の要とされるのはCAPAと略称される是正措置と予防措置です。何か問題が発生した場合の根本原因の調査と対策が是正措置、リスク分析などに基づき、そのリスクの発生を防止するのが予防措置です。それらを正しく行うためにも輸送に関するすべてのプロセスを文書化し、エビデンスとして残す必要があります」と立谷さんは話す。

本輸送までの膨大なリスクアセスメント

では実際にどのような医薬品輸送を行っているか、CEIV Pharma認定監査員の資格を持つロジスティードエクスプレス(株)の藤原良文さん、松下晋也さん、生長優一さんに関西国際空港での事例を教えてくださいました。

「西日本航空課では、大手製薬会社や、大学発のベンチャー企業のワクチンの輸入と輸出のフォローアップ(輸送手続き)業務を行っています。また医薬品の開発段階で使われる細胞の輸送もあります。それは新薬開発の核となるもので、やがては多くの人命を救

「ワクチン輸送では2~8度の温度帯が指示されることが多いのですが、そのインフルエンザワクチンは6~10度の温度帯で輸送しなければいけませんでした。日本の冬の時期など、一桁台の気温の場所から40度近い国への輸送になります。指定された温度帯を逸脱しないように、梱包容器の設計から始まり、その容器にデータロガー(温度記録計)を入れて試験輸送することを繰り返しました。本出荷まで半年以上の調整を重ねました」と話す。

一方、ヨーロッパから狂犬病ワクチンを輸入する業務を担当した生長さんは「狂犬病ワクチンは2~8度の温度帯での輸送となり、5度プラスマイナス3度という考え方で輸送計画を練り、シミュ



ロジスティードエクスプレス(株) 営業開発部部長の立谷 彰浩さん。CEIV Pharma認定管理者の資格を持つ。西日本航空課で年1回開催する社内勉強会では講師を務める。

*3 CAPA:Corrective Action(是正措置)とPreventive Action(予防措置)の頭文字をとったもので、問題解決と継続的な改善のための必須プロセス



上2点/実際の医薬品輸送に使う断熱容器(左)と蓄熱剤(右)。たとえば15度~25度の保管温度帯指示がある医薬品の場合、20度で融ける蓄熱剤を使用する。右/KIX-Medicaの入口。台風などの大雨で浸水の恐れがある場合は、自動的に止水板が上がり内部への浸水を防ぐ仕組みになっている。



レーションを重ねました。輸送用冷蔵トラックの荷台を5度に予冷しておくこと、輸送ルートの高速度道路が交通止めになった際はどの迂回ルートを使うか、万が一トラックが故障した場合はどのように対応するか、など検討事項は多岐にわたります」と、輸送にあたって膨大なリスクアセスメントを行っていることを教えてくださいました。

また、関西国際空港にはCEIV Pharma認証を取得した医薬品貨物専用の上屋「KIX-Medica」がある。5度(プラスマイナス3度)、20度(プラスマイナス5度)で医薬品の保税貨物を保管できる倉庫だ。ロジスティードエクスプレス(株)の医薬品輸送もこの上屋を利用して

「ここでは停電対策一つにしても何重にもバックアップ体制が敷かれている。倉庫で使用されるフォークリフトは水素を燃料とする燃料電池タイプのものだ。通常のエンジン式だと排熱で倉庫内の温度上昇を招き、電動式では停電時に使用できなくなるためだ。水素ステーションは上屋のすぐ近くにある。」

さらに西日本航空課では、CEIV Pharma認証の医薬品輸送にあたり、年1回の社内勉強会を実施している。輸出入業務や営業に携わる従業員らが1時間程度の講義を受ける。内容の理解度を測るための試験が行われ、80点以上で合格となる。不合格者は再試験を受ける必要がある。この勉強会と試験の結果も記録され、CEIV Pharma認証を維持する監査資料となる。



CEIV Pharma認証を理解するためのポイント

1 IATAによるCEIV Pharma認証の設立目的は?

医薬品の航空輸送における品質と完全性を確保するためのグローバル基準を確立すること

2 医薬品の完全性を毀損する原因となりやすいことは?

輸送中、医薬品ごとに指定された保管の温度範囲から逸脱(=温度逸脱)すること

3 温度逸脱が医薬品に与える影響として深刻なことは?

医薬品の品質、効能が低下もしくは消失し、治療効果が期待できなくなる

4 温度逸脱以外の毀損リスク要因は?

過度な乾燥や湿気による医薬品の化学的安定性の毀損。ほかにも輸送の遅延や落下、衝撃などの物理的ダメージ、害虫混入、盗難・すり替えなどのセキュリティ不備も完全性を脅かすことにつながる

5 CEIV Pharma認証を持つフォワードのメリット

品質劣化リスクの最小化による高い信頼性を持つこと、トラブル発生時の迅速な対応体制の確立によるリスク軽減など



通天閣と新世界

大阪・新世界のランドマークである通天閣は、1912年に誕生し、現在の塔は1956年に再建された高さ108メートル（避雷針含む）の展望塔。塔内には幸運の神様「ビリケンさん」が鎮座するほか、特別野外展望台「天望パラダイス」、全長60メートルの体感系滑り台「TOWER SLIDER(タワースライダー)」などがある。また周辺の新世界は串カツなど大阪グルメ、ミックスジュースも味わえる喫茶店などの名店も多く、昭和レトロな下町情緒を感じられる。通天閣の展望台料金、営業時間はこちら(www.tsutenkaku.co.jp)で確認を。
 ©大阪府浪速区恵美須東1-18-6



ミックスジュース
たこ焼き、串カツ
お好み焼き……
「食いだおれ」の大阪は
おいしいものが
いっぱい!

大阪城公園

大阪のシンボルである大阪城は、豊臣秀吉によって築かれた名城。大坂夏の陣で落城し、徳川幕府が再築した。明治維新の動乱で焼失したが昭和に入って天守閣が再建された。現在は天守閣を中心とした一帯が特別史跡大坂城跡「大阪城公園」として整備されている。総面積105.6ヘクタールの公園内には大手門、千貫櫓など江戸時代の建築が残る重要文化財が点在する。天守閣の入館は有料。8階展望台からは緑豊かな公園や大阪平野に広がる街なみが一望できる。
 ©大阪府中央区大阪城



道頓堀

大阪・ミナミの中心に位置する道頓堀は、ネオンとグルメ、エンターテインメントの街として国内外から多くの観光客を集める人気のエリア。道頓堀の名は、慶長17(1612)年に私財をなげうち、川を開削した安井 道頓(やすい どうとん)の名前に由来する。現在の道頓堀沿いの商店街にはたこ焼きやお好み焼き、串カツなど大阪名物を味わえる飲食店がずらりと並び、食べ歩きも楽しい。水辺の遊歩道「とんぼりパーク」も整備されている。
 ©大阪府中央区道頓堀



右上/ロジスティードエクスプレス(株) 西日本航空課で行われていた、CEIV Pharma 認証の勉強会。
 上/勉強会に初参加した江戸 咲希さん。「医薬品輸送はまだ担当していないのですが、どれほどの正確さを求められるのか、学ぶことができ良かったです」と感想を話していた。

ベトナムのCEIV Pharma認証取得で、ロジスティードグループ

ロジスティードエクスプレス(株)で最初にCEIV Pharma認証を取得したのは2021年3月、成田国際空港だった。その際の立役者であり、CEIV Pharma認定監査員の資格を持つ営業開発部担当部長の南條 恭徳さんは「CEIV Pharmaで身につけた品質管理の手法やノウハウは、他の貨物輸送の品質向上にもつながっていきます。なにより、医薬品開発の最先端の一端を担うことで大きなやりがいを感じられる仕事です」と話す。



ロジスティードエクスプレス(株) 営業開発部 担当部長の南條 恭徳さん。ロジスティードエクスプレスでのCEIV Pharma 認証取得の第一人者だ。その知見を活かし、海外拠点での取得もサポートしてきた。

プは国内外計8か所の認証拠点をもち、アジアのフォワーディング会社の中で最も多い拠点数を誇ることになる。また、オランダには高度な医薬品輸送に長けたロジスティードグループのCyber Freight International Holding BVがあり、日本、アジア、ヨーロッパで品質の完全性を保持した医薬品輸送を、同じ基準でロジスティードグループ内で行うことができます。信頼性において大きな強みになり、今後も安全な医薬品輸送で人々の健康を守ることに貢献していきます」と南條さんは話していた。

ロジスティードエクスプレス株式会社 航空事業部 西日本航空課 開放感のあるオフィスで、高い専門性を身につける仕事を

空運、海運、陸運によるフォワーディングサービスを事業の柱とするロジスティードエクスプレス(株)。その中で関西国際空港、中部国際空港、神戸駐在所、福岡空港を拠点管轄する航空事業部 西日本航空課のオフィスは大阪市中央区の地下鉄 堺筋本町駅近くにある。

担当部長の宗清 英如さんは「以前は西九条(大阪市此花区)にオフィスがあったのですが、昨年12月に移転しました。(特定のデスクを決めない)フリーアドレスで開放感あるオフィスです。同じフロアに海上事業部なども同床しているのですが、他業務の従業員との会話も生まれやすく、「風通しのいい」オフィスになっています」と話す。

西日本航空課では関西国際空港で取得しているCEIV Pharma認証を活かし、ワクチン輸送なども手掛ける。「CEIV Pharma承認

連の輸送は受託貨物全体から見れば1割に満たないのですが、狂犬病ワクチンの輸入など、高額な薬の貨物も取り扱っています。温度管理のため、我々が空港で箱を開け、冷蔵庫に入れる作業など、より慎重な作業が必要になります」と宗清さん。

ほかに取り扱うのは、輸出ではヨーロッパへの農業用機械、アメリカ向けの掘削工具など機械工具類。輸入ではアジア各国からの衣料品、雑貨などとなっている。衣料品の輸入にあたり、暫定措置法第8条(暫8)を適用した免税・減税措置の申請対応も行っている。「手間と時間がかかる申請で、他社では対応していないところも多いのですが、ロジスティードエクスプレスでは請け負っています」。従業員には輸出と輸入どちらの業務も経験することで、幅広く、高い専門性を身につけられる職場だ。



西日本航空課のみなさん。前列中央が担当部長の宗清 英如さん。職場ではペーパーレス化が進み、通関業務でも在宅勤務で対応可能な環境が整っている。

DATA	
住所	大阪市中央区南本町1-8-14
	JRE堺筋本町ビル6階
電話	06-6264-0601
従業員数	38名

認証拠点を増やし
信頼性の高い輸送を行う

第10回 「わだち」は漢字で書くと「和達」とあてています。この「達」にちなんで各分野の達人を紹介していきます



カーリング ミックスダブルスで 世界をめざす

カーリング選手

青木 豪さん(写真右)

小穴 桃里さん(写真左)

冬季オリンピックでの日本チームの活躍で注目度が高まるカーリング。体格差が影響せず、集中力や精神力、そして先読みをする高度な戦略が必要とされるスポーツで、日本人向きの競技ともいえる。2026年2月にはイタリアで冬季オリンピックが開催される。ミックスダブルスでベアチームを組み、世界をめざすカーリング選手の青木 豪さんと小穴 桃里さんにカーリングの魅力を聞いてみた。

鍋だしとあら煮

ロジスティードグループ保養所
サン・アンド・サン荘 伊豆高原
料理人が教える

SDGs
エコレシピ

vol. 10

今回の余りもの食材は…

魚のあら

魚をおろしたあとの頭や骨、ひれなどのことを「あら」といいます。これを捨ててはもったいない。骨や骨の周りはゼラチンが多くコラーゲンやDHA、EPAが豊富。しかも旨みもたっぷりでおいしいだしを取るすることができます。今回は、鍋のだしと、大根と一緒に煮あげるあら煮を紹介します。あらは、スーパーの鮮魚売り場などで手軽な値段で売られています。安くて栄養豊富ですから、物価高騰の昨今、魚のあらを活用してみてもいいかがでしょうか？



作り方(鍋だし)

- 鍋に水と昆布を入れ、2~3時間置いておく
- 別の鍋で湯を沸かし、ざるなどに入れた魚のあらをさっとぐらせた後冷水にとって水を切る
- ①の鍋から昆布を取り出し、②のあら、長ネギ、料理酒を入れて沸かし、沸騰させないような火加減で40~50分ほどアクを取りながら煮出す
- 用途に合わせて塩、醤油(分量外)などで好みの味に調える

材料(鍋だし:2人分)

- 鯛など大きめの白身魚の骨のあら(中骨や胸びれなど) 1~2尾
- 昆布 約10cm×3cm四方1枚
- 長ネギの青い部分 1本分
- 料理酒 50cc ●水 約3L
- 塩 ひとつまみ



鍋だしの材料

作り方(あら煮)

- 魚のあらを食べやすい大きさに切る
- ①を沸騰させたお湯の中に10秒ほど浸け、冷水にとって水を切る
- 大根は食べやすい大きさに切り、串が通るくらいまで下茹でする
- 鍋に砂糖、醤油、味醂、料理酒を入れてひと煮立ちさせたら②のあら、③の大根を入れ、落とし蓋(アルミホイルなどでも可)をし、強火で沸かす
- ④が沸いてきたら中火から弱火の吹きこぼれない程度の火力で5分ほど煮つけて火を止める
- ⑤を1時間ほどおいて味を染ませる
- 食べる前に再度加熱してから皿に盛り付ける

材料(あら煮:2~3人分)

- 魚のあら(鯛・鯛・かんばちなど)
- 生姜の千切り、またはおろし生姜 1片分(約15g)
- 大根 1/4本 ●砂糖 200g
- 濃口醤油(あれば溜まり醤油) 100cc
- 味醂 200cc ●白髪ネギ(付け合わせ) 1/4本分



あら煮の材料

スーパーなどの鮮魚売り場では、鯛・鯛・鯛・平目などのあらをよく見かけます。大きな魚ほど可食部が多く、栄養も旨みも多く含まれているのでぜひ活用したいもの。「霜降り」という、沸騰したお湯を通した後に氷水で急冷する下処理を施すと、血などの汚れや生臭さが取れます。

あらを昆布だしで煮出して日本酒や塩で味を調えれば寄せ鍋、しゃぶしゃぶなど鍋料理のだしに。より一層風味豊かな鍋を楽しむことができます。もちろん、そのまま潮汁(吸い物)にもなりますし、味噌汁のだしとしても利用できます。また、市販のホワイトソースに加えてシーフード系のグラタンやシチューを作るとコク深い味わいに。多めにとって冷凍しておくのもよいでしょう。煮出す時にグラグラ沸騰させてしまうとアクが散って濁りが出るので火加減に注意してください。

あら煮は、煮汁に旨みが出るので、下茹ですておいた大根や牛蒡なども一緒に煮るのがおすすめです。煮物は、煮るほど味が入ると思われがちですが、冷めていく時に味が染みるので、煮上げて火を止めたら1時間ほど置いて冷ましたほうがおいしくなります。

テクニクと先読みする能力

「氷上のチェス」と称されるカーリング。花崗岩で作られた重さ約20kg、直径約30cmのストーンを投げて滑らせ、約37m離れたハウスと呼ばれる円内に入れて得点を競うスポーツだ。対戦相手の選手と交互に投げ合い、規定数を投げ合った後、ハウスの中心により近い位置にストーンがあるチームに得点が入る。

交互の投げ合いでは相手のストーンを弾き出したり、自分のチームのストーンを守るためにガードとなるストーンを置いたり、狙ったところに投げるテクニクに加え、先読みをした高度な戦略が必要となる。また、滑るストーンの前をブラシで掃く「スワイプ」もストーンの滑りを良くしたり、滑る方向をコントロールするためテクニクとして必要となり、これは体力を消耗する。

5年間、喧嘩のないペアチーム

日本でカーリングが注目されるようになったきっかけは、1998年開催の長野冬季オリンピックだった。4人制のカーリングが正式種目となって行われ、日本チ

ームが健闘したことで関心が高まった。そして今、新たに注目されているのが、男女ペアで行うミックスダブルスのカーリングだ。冬季オリンピックでは2018年の平昌大会から正式種目となった。

2026年2月にはイタリアのミラノとコルティナダンペッツォで冬季オリンピックが開催されるが、日本代表として初出場を狙う

チームとして初出場を狙う

チームとして初出場を狙う

チームとして初出場を狙う

チームとして初出場を狙う

チームとして初出場を狙う



チームの練習場所の一つである軽井沢アイスパークで練習をする青木さん(写真上)と小穴さん(写真下)。練習中も互いに気付いたこと、思ったことはすぐ話し、意思疎通を図っていた。「会話の多さがチームの強み」と小穴さんは話す。



長所・短所を補い合うチームだという分析結果が出た。

経験の積み重ねが生きる

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの前に注目されるカーリングのミックスダブルス。4人制との違いは試合展開の早さだ。

「4人制は1エンドにつき4人それぞれがストーンを2回ずつ投げ、相手チームと合わせると16投されます。それを10エンド行います。試合時間は2時間半以上になりませんが、それに対してミックスダブルスは1エンドで投げるのがそれぞれチームで5回、合わせて10投です。それを8エンドで競います。試合時間は1時間半程度です」と小穴さん。トータルの投数が少ない分、1投のミスショットが試合結果を左右したり、戦略次第で劇的な逆転が起こりうる。「スピーディーな試合展開になるので、観戦される方も楽しみやすいと思います」と続けて教えてくれた。

また、カーリングは筋力の強さだけで勝てる種目ではなく、経験の積み重ねやいかに正確に適切な強さでストーンを投げられるかなどで勝敗が分かれるスポーツだ。30代、40代、それ以上でもトップ

に立つことができる。

プライベートでは小穴さんは2021年に結婚、22年に長女を出産した。JISSが行う「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」のサポートを受けながら競技を続けてきた。そしてこれから妊娠、出産、育児を考える女性アスリートの役に立てばと、自身の体験をウェブ上のメディアプラットフォーム「note」で発信している。

青木さんは地元である札幌のカーリング協会主催の講習会などでコーチや講師役を務めることもある。「教えるのは難しいです。でも、カーリングの技術などを言語化することは自分にとってもプラスになります」。2人はそれぞれカーリングの魅力を広める活動も行っている。



2019年度のシーズンからペアチームを組んだ青木さん(右)と小穴さん(左)。小穴さんの人脈なども活かし、現在はロジスティード東日本(株)をはじめ27社からスポンサーを受けている。「それぞれの会社の従業員のみなさんも含め、大勢の方の応援をいただき、うれしいです」と2人は話す。



カーリング選手が氷上のコートで履いているシューズの裏底は左右で違う材質が使われている。片方は滑りやすいテフロン(写真右・左足)など、もう片方は滑りにくい軟質ゴム(写真下・右足)などが使われ、素早く移動する時は滑りやすいほうのシューズに重心をかけて滑っている。

「移籍の判断は間違っていなかった」

2025年4月、10年所属していた旭化成陸上部からロジスティード陸上部に移籍した市田 宏さん
双子の兄 孝さんとともに中学時代から頭角を現し
高校時代は全国高校駅伝で優勝を経験
旭化成時代はニューイヤーカーで
4連覇を果たした際の立役者の一人となりました
移籍、そして新天地にかける思いを
市田さんに聞きました



どなたとどこで育ち、陸上を始めましたか？

桜島がすぐ目の前に見える鹿児島市内で生まれ育ちました。家は山のほうにありましたが、坂を下っていけばすぐ海に出ることができました。私には双子の兄孝がいるのですが、二人とも外遊びが好きで、よく海まで駆けて行って一緒に泳いだりしていました。

顧問は厳しい先生でしたが、人間的に魅力がある方で、駅伝そのものもおもしろかったこともあり、中学2年生の時に陸上部に転部しました。

ロジスティード陸上部監督。この当時は日本体育大学陸上部監督とつながりがあったためです。だから、中学生の時から別府監督のことを知っていました。

スポーツで言えば、小学4年生から中学2年生までサッカーをしていました。ただ、中学校の陸上部の顧問から「駅伝のメンバーが足りない。ちょっと出てくれないか？」と声がかかり、中学1年生の時から兄と二人、市内の駅伝大会に出ていたんです。

そして長距離で大会に出るようになったのですが、中学3年生の時、全日本中学校陸上競技選手権大会とジュニアオリンピックの3000mで兄と1位と2位のワントーフィニッシュを決めました。兄が1位、私が2位です。

また、全国の大会に出場する際、日本体育大学のグラウンドを借りて練習することもありました。顧問の先生が別府監督（現在の口

高校、大学時代の思い出は？

陸上がおもしろくなり、兄と二人、鹿児島実業高校、大東文化大学へと進学し、陸上を続けました。一緒に学校で続けるといことは、二人の間では「あたり前」という感覚でした。

高校では中学時代にライバル関係だった選手も一緒にの学校になり、「このメンバーなら駅伝の全国大会で優勝できる」と感じました。そして、実際に高校3年生の時、全国高等学校駅伝競走大会で優勝を

果たしました。この優勝が、私の陸上競技人生の中で一番思い出に残っていることです。仲間に恵まれた高校時代でした。

大学では駅伝の難しさを実感しました。1年生の時、チームは箱根駅伝予選落ちでした。みんながんばり、2年生からは箱根駅伝出場を勝ち取ることができ、私も2年生から4年生まで3年連続、箱根で走りました。

ロジスティード陸上部に移籍した思い

大学卒業後、兄と二人、旭化成（株）に入社し陸上部に所属しました。入部の決め手は、私たちと同じ双子で、オリンピックや世界陸上のマラソンで活躍した宗兄弟がいたチームだからです。私たちに比べては中学の頃から憧れの選手でした。

旭化成陸上部では2017年から2020年までニューイヤーカー伝4連覇も経験しました。宗猛総監督（現顧問）から指導を受けることができ、アドバイスの一言一言が身に染みみました。

旭化成陸上部で10年走り、私は2025年3月末で旭化成を退社し、この4月からロジスティード陸上部に移籍しました。兄は今も旭化成で走っています。兄弟で初めて、別のチーム所属になりました。

移籍を考えたのは、年齢的にも陸上で大きなチャレンジできるのは今しかないと思ったからです。自分の中で大きな変化を起こしてみたい、という思いが強く、新天地への移籍を決めました。

新たなスタートで感じることは？

移籍先としては別府監督がいるロジスティード陸上部しか頭に浮かびませんでした。別府監督には中学の時から、高校の時にも声をかけていただいたりしていました。

移籍にあたっては、私の思いを伝え「一緒にがんばろう」と言っていたので今に至ります。

ロジスティード陸上部は今年4月新卒の加入者もいて、とても若く、フレッシュなチームになっています。個性的で力のある選手が揃っていて、練習では互いが意見やアイデアを言い合える雰囲気です。いい意味での「がむしゃらに

がんばる」という雰囲気もあり、私の中では忘れかけていた昔の感覚を取り戻させてくれる感じがあります。

私はそのフレッシュさから刺激を受けながらも、これまでの経験を活かして無理をしないほうがいいところは無理をしない、そういう姿勢を逆に若手に見せていきたいと思っています。

また、どの大会に出るかなど自分の意見をよく聞いてくれるチームで、移籍の判断は間違っていないと感じています。



いち
市

ロジスティード陸上部
選手たちの
ONとOFF
vol. 9
Hiroshi Ichida

だ
田

ひろし
宏

応援は力になりませんか？

応援は私たちの力になります！
レース中、しんどくなってきたり、自分を応援してくれる人を見たら、その瞬間、がんばろう！という気持ちになります。時々、振り返って見てみたりして、あとで「振り返らなくていいよ」と言われたりすることもありました(笑)。

私を応援してくださる時の声かけは「ひろし！」と名前での呼びかけがうれしいです。

ロジスティードに移籍してきてまだ日が浅いこともあってか、「市田さん」と名前で呼ばれることが多いです。双子なので、これまでほとんど名前では呼ばれてきたため、ぜひ名前で呼びかけてください。

応援は「ひろし！」と名前を呼んでください

オフィスワークではどんなことを担当していますか？

今は週に2日、午前10時から午後2時まで(株)アルプス物流 松戸営業所(千葉県松戸市)で勤務しています。事務所で、入構者の受付と金属探知機を使ったチェックなどを担当しています。松戸営業所は航空貨物をメインに取り扱っているのですが、危険物持ち込みのチェックが厳重なのです。

ドライバーのみなさんと対面し、間違いがあつてはいけないと緊張しますが、暮らしに欠かせないものがどのように運ばれているの

かが、わかるようになってきており、やりがいのある仕事です。

昼休憩の時間には、食堂で従業員のみなさんが気さくに声をかけてくれたりしてうれしいです。営業所と同じ、松戸市内にある陸上部のクラブハウスの寮から自転車通勤しています。

趣味や休日の過ごし方は？

休日は基本的に日曜だけなので、チームの部員と食事に行くこともあります。

また、今はアナログ盤のレコードの音楽鑑賞にはまっています。松戸の寮で暮らすようになって、(陸上部マネージャーの)上田さんが持っているレコードを聴かせてもらった時、その音に感動したんです。もともと洋楽が好きで、ピ

ートルズやマイケルジャクソン、カーペンターズなど1960〜80年代あたりの音楽をよく聴いています。レコードプレーヤーも新たに買ってしまいました。

レコード盤だと歌詞カードも一緒に入っているのです。どんな歌なのか調べたりもします。明るい感じの曲なのにシリアスな歌詞だっ

たり、今の自分の状況に刺さるフレーズがあったり、昔の曲ですが私にとっては新しい発見があったりして楽しいです。

あとはアウトドアが好きなので、まとまった時間があればキャンプに行ったりもします。千葉の海に行くことも楽しみにしています。

兄の孝さんは応援してくれていますか？

旭化成陸上部に所属する兄は今、東京都内で暮らしています。旭化成時代の私は宮崎県延岡市を拠点にしていたので、今のほうが距離的には近くなりました。移籍の決

断に関しても応援してくれましたし、タイミングが合えば東京で会うこともあります。これからは良きライバルです。

勝負飯やゲン担ぎは？

勝負飯はオムライスです。中学、高校の時、試合前に母がオムライスを作ってくれたことが多く、それを勝負飯にしていたからです。

母が作ってくれたオムライスは、中身はケチャップライスではなく、いろんな野菜が入った白い焼き飯にトロッとしたタイプのオムレツがかかるとした。上にかけるのはデミグラスソース。今も試合前にはオムライス屋さんを探して

食べています。

ゲン担ぎは、中学で陸上を始めた頃に祖父からもらったてんと虫のピンバッジをお守り代わりにつけることです。小さなピンバッジで、試合の時、ユニフォームのパンツの腰ゴムのあたりにつけて走ります。小さなものなので見つけにくいと思いますが、試合中の写真にたまに写っていることがあります。

これからの目標は？

まずは次のニューイヤーマラソンメンバーとして出場することです。チームとしての目標は8位入賞ですが、私は今の陸上部全体の實力、そして部員の熱量から見て、優勝も十分に狙えると感じています。

練習で松戸市内を走っている時、地元の方から「がんばって！」と声をかけてくださることもあり、地域に愛されているチームなんだ

と知りました。そういったみなさんの応援に応えるためにも、上位をめざします。

個人的にはマラソンに力を入れていきたいと考えています。兄と揃ってオリンピックや世界陸上といった大舞台で走るということを昔からの大きな目標として持っています。その実現に向かって、これからがんばっていきます。

いちだ ひろし●1992年生まれ、鹿児島県鹿児島市出身。鹿児島実業高校、大東文化大学卒業。双子の兄である孝さんと中学2年の時から本格的に陸上を始めた。高校3年の時、全国高等学校駅伝競走大会で優勝。大学時代には箱根駅伝に3回出場し、好走した。大学卒業後は旭化成陸上部に入部。チームのニューイヤーマラソン2017〜2020年4連覇にも貢献した。2025年3月末に旭化成陸上部を退部し、25年4月1日からロジスティード陸上部所属。



オンライン医療と連携したDXで「健康起因事故ゼロ」へ

ロジスティード(株)は、ヤマトホールディングス(株)傘下の(株)MY MEDICAとパートナーシップ契約を締結し、サービス連携に向けた検討を開始しました。両社は、「健康起因事故」の根本的な解決に向けて、DXを活用した新たな取り組みを推進していきます。健康起因による交通事故は、物流業界における深刻な課題のひとつです。ロジスティードは、IoTで取得したドライバーのバイタルデータをAIで分析し、体調不良の兆候を早期に検知する「SSCV®-Safety」を自社開発し、すべての自家車両に導入しています。一方、MY MEDICAは、自動車運送事業者の従業員の健康管理と重症化予防に向けて、オンラインで診療予約、診療、服薬指導、おくすりの配送、会計までをシームレスに受けられるサービス「MY MEDICA」を展開しています。両社の連携により、DXを活用した予防医療と安全運行管理を融合させ、ドライバーの健康状態をリアルタイムで把握し、必要な医療サービスへスムーズにつなげることで、事故の未然防止を図ります。



「EcoLogiPortal®」がSAPのサステナビリティ管理ソリューションと連携

ロジスティード(株)は、サプライチェーン最適化サービス「SCDOS (Supply Chain Design & Optimization Services)」の一環として提供するCO2排出量可視化ソリューション「EcoLogiPortal®」*1と、SAP*2のサステナビリティ管理ソリューションとの連携を開始しました。これにより、企業はスコープ1,2,3*3を含むCO2排出量データを、基幹システム上で一元的に可視化・管理できるようになり、企業の脱炭素経営を強力に支援します。



*1 ロジスティードのIT基盤にお客様のシステムを連携させることで、輸送に関わるCO2排出量データを自動収集・集計し、地域別・輸送モード別・商品カテゴリ別など多様な切り口で可視化できる。「EcoLogiPortal®」は第三者機関による適合性評価を受けており、CO2排出量の算定精度と信頼性が確認されている。
*2 SAP、SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標。
*3 スコープ1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 スコープ2:他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出 スコープ3:事業者の活動に関連する他社の排出



「QRコード」を読み取ると、ロジスティードのWebサイトから詳細をご覧いただけます。「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

前回の大阪万博は1970年。技術を象徴する展示物となっていた「ロボット」は当時の目玉として人気を博していたようです。55年を経て技術の進化により、あらゆる場面で人と共存し、物流の現場でも無くてはならない存在になりました。今回の万博では「空飛ぶクルマ」が話題を呼んでいました。50年後には当たり前のように空を飛んで移動する時代が来ているかもしれない、と思うワクワクしますが、私が乗れるかどうかとも定かではありません…。(金田)

オフサイトPPAによる電力調達を開始

ロジスティード東日本(株)の物流センターにおいて、オフサイトPPA*による電力調達を開始しました。このたび遠隔地の太陽光発電設備などで創出された電力を購入する「オフサイトPPA」を開始しました。これにより、構造上の制約などにより太陽光パネルの設置が困難な営業拠点においても、環境価値を含んだ電力を活用することが可能となります。今後は、「オンサイトPPA」によってロジスティードグループの拠点で発電された余剰電力を別拠点へ供給する計画も進めており、グループ内での再生可能エネルギーの融通を通じて、さらなる環境価値の創出を推進します。

* PPA (Power Purchase Agreement: 電力販売契約): 太陽光発電設備の所有・管理を行う会社 (PPA事業者) が設置した太陽光発電システムで発電された電力をその施設の電力利用者へ有償供給する仕組み



全日本物流改善事例大会2025で「最優秀物流改善賞」受賞

ロジスティード(株)は、全日本物流改善事例大会2025(主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会/一般社団法人日本物流資格士会)の物流管理部門において、最高位の「最優秀物流改善賞」を受賞しました。「物流管理部門」において「SSCV®-Safety」を活用したドライバーの体調と運行を見える化し、ヒヤリハットを98%削減する取り組み事例を発表し、実行委員会より最も優れた改善事例として評価されました。

近年、「SSCV-Safety」による安全への取り組みが各方面で評価され、2024年11月の「Safety Driving Award 2024」では「ゴールド賞」、同年12月の「令和6年度運輸安全マネジメント優良事業者等表彰」では「国土交通大臣表彰」を受賞しました。今回はそれらに続く3度目の最高位受賞となります。



北海道LNG(株)より「ベストドライバー表彰」

2023年12月より本格稼働を開始したロジスティード北日本(株)札幌東営業所のLNG*輸送業務が3年目を迎えます。このたび、札幌東営業所の鈴木 裕希弘(ゆきひろ) 操縦士が、北海道LNG(株)より「2024年度ベストドライバー」として表彰され、日頃の安全運転と高品質な業務への取り組みに対し、感謝と激励の言葉を贈られました。今後も安全・安心なLNG輸送を通じてお客様の信頼に添えていきます。

* LNG:「液化天然ガス(Liquefied Natural Gas)」の略称



「ソープボックスダービー®」日本代表選手の世界選手権出場支援

ロジスティード(株)は、Gravity Car Race/重力カーレースの普及促進をめざすNPO法人日本ソープボックスダービー協会の活動を応援しています。米国で開催された「第87回AASBD(オールアメリカンソープボックスダービー*)世界選手権」への日本代表選手の出場に協賛し、社名を冠した「LOGISTEED VANTEC ニッポン号」が出走しました。

*ソープボックスダービー:CO2を全く排出しないゼロエミッションのクルマが「地球のチカラ(重力)」だけで坂道を走り、その速さを競うカーレースの総称。1933年に米国で生まれ、大手自動車メーカーやタイヤメーカーなどをスポンサーとして、90年以上にわたり、オハイオ州アクロン市において毎年レースが開催されている。



使用済みEVバッテリーの資源循環システム構築に向けた活動計画

ロジスティード(株)は8月20日、ホテル日航福岡(福岡県福岡市)で開催された「グリーンEVバッテリーネットワーク福岡(以下、GBNet福岡)」のネットワーク会議にて活動報告を行いました。GBNet福岡は、今後急速な増加が見込まれる使用済みEVバッテリーの回収・リユース・リサイクル・再製造の一連の工程を、経済・環境の両面で最適化させる資源循環システム「福岡モデル」の構築をめざして設立された官民連携組織です。ロジスティード(株)は2024年11月より参画し、社会課題解決に向けたマテリアリティの一つである「循環型社会への貢献」の推進に向けて、さまざまな活動に取り組んでいます。



2025日本パッケージングコンテストで「ロジスティクス賞」受賞

ロジスティード(株)は、公益社団法人日本包装技術協会主催「2025日本パッケージングコンテスト」にて「上腕式呼称デモセット リユース梱包箱」が包装技術賞の「ロジスティクス賞」を受賞しました。今回受賞した作品は、安全運行管理ソリューション「SSCV®-Safety」で使用するデモ機をユーザーに発送するために開発したリユース梱包箱です。このリユース梱包箱を使用することにより、輸送費を40%削減、包装簡略化による開梱・再梱包時間を60%削減しました。外箱には手掛穴を備えており、荷扱いの品質向上にもつなげました。



国際物流総合展2025 第4回INNOVATION EXPO出展

ロジスティードグループは、9月10日~12日の3日間、東京ビッグサイト東展示棟(東京都江東区)で開催された「国際物流総合展2025 第4回INNOVATION EXPO」に出展しました。ロジスティードグループのブースでは「導入だけで、物流のあらゆる「困った」をロジカルに解決」をテーマに掲げ、お客様の課題解決に役立つソリューションを紹介しました。

青森ねぶた祭出陣

8月2~7日にかけて開催された「青森ねぶた祭」に日立連合ねぶた委員会の一員としてロジスティード東日本(株)が参加しました。お祭りに合わせて作成された「LOGISTEEDうちわ」を観光客の方々へプレゼントしロジスティードのPRを図りました。東北輸送・機工営業所青森係の従業員も運行に参加し、雨天の日もありましたが、雨をものともせず祭りを大いに盛り上げました。



